

単元	指導内容	評価規準	評価の判断資料
体づくり運動	・体ほぐしの運動 ・体力を高める運動	・体の調子を整え、体力の向上ができる。(ア) ・体を動かす楽しさを感じながら、仲間と豊かに交流できる。(ウ)	ア【知識及び技能】 ①技能テスト ②定期テスト ③小テスト ④授業観察 イ【思考・判断・表現】 ①個人カード ②ゲームの参加状況 ③定期テスト ④授業プリント ウ【主体的に学習に取り組む態度】 ①授業観察 ②個人カード
集団行動	・集団隊形・姿勢・方向転換など	・集団として、敏速かつ確な行動が整然ととることができる。(ウ)	
スポーツテスト	・新体力テスト種目	・ルールを理解し、意欲的に取り組むことができる。(ア、ウ)	
陸上競技（短距離・リレー）	・基本的なスタート方法、バトンパス	・自分にあった課題設定ができ、計画的に課題解決に努めることができる。(イ) ・より速く走ることを目指し、ベストを尽くすことができる。(ウ)	
バレーボール	・個人的技能：パス・レシーブ・サービス ・集団的技能：カバーリング	・基本的な個人的技能を習得することができる。(ア) ・集団的技能を用いてラリーを続ける楽しさを味わうことができる。(イ、ウ)	
水泳	・クロール・平泳ぎ・バタフライ　・背泳ぎ ・25mタイム計測 ・20分間遠泳	・各泳法を正しく泳ぐことができる。(ア) ・長く、また、速く泳ぐことをねらいとして、自己の能力に応じて課題の達成に取り組むことができる。(イ、ウ)	
保健	・健康な生活と疾病の予防	・感染症の予防と健康の保持増進や疾病の予防のための個人や社会の取組に関する知識と、健康についての判断を身に付けることができる。(ア、イ)	参考図書 『中学保健体育』（学研） 『ステップアップ中学体育』（大修館書店）
器械体操	・マット運動	・各種目の技がより円滑に行うことができる(ア) ・自己の努力や工夫によって課題解決に取り組み、その課題を達成した喜びを味わうことができる。(イ、ウ)	
陸上競技 ハードル走	・ハードリング動作 ・50mとの比較	・適切なハードリングができる。(ア) ・自分にあった課題設定ができ、計画的に課題解決に努めることができる。(イ、ウ)	
柔道	・礼法 ・受け身 ・投げ技・固め技・投げの型	・進んで授業に参加し、意欲的に柔道に取り組もうとする(ウ) ・自分にあった課題設定ができ、計画的に課題解決に努めることができる。(イ) ・柔道のルールを理解している。(ア)	
サッカー	個人的技能：パス・ドリブル・シュート・トラッピング・キック ・集団的技能：ディフェンス・オフENSE	・基本的なパス、ドリブル、シュート、キックなどができる。(ア) ・勝敗に対して公正な態度で臨み、ゲームや競技を楽しむことができる。(ウ)	
保健分野	・健康と環境	・身体の環境に対する適応能力や飲料水や空気の衛生的管理、廃棄物の衛生的管理について理解することができる。(ア)	
バスケットボール	・個人的技能：パス・キャッチング・ドリブル・シュート・ピボット ・集団的技能：ディフェンス・オフENSE	・パス・キャッチング・ドリブル・シュート・ピボットをすることができる。(ア) ・勝敗に対して公正な態度で臨み、ゲームや競技を楽しもうとすることができる。(ウ)	
ソフトボール	・個人的技能：キャッチング・スローイング・バッティング・走塁 ・集団的技能：連係プレー	・個人的技能を習得することができる(ア) ・集団で協力し合いながら勝敗を競い合い、楽しくゲームを進めることができる。(ウ)	
体育理論	・文化としてのスポーツの意義	・現代生活におけるスポーツや国際的なスポーツ大会などが果たすの文化的意義について理解することができる。(ア) ・運動やスポーツの意義や効果について理解できる。(エ)	

単元	指導内容	評価規準	評価の判断資料
体づくり運動	・体ほぐしの運動 ・体力を高める運動	・体の調子を整え、体力の向上ができる。(ア) ・体を動かす楽しさを感じながら、仲間と豊かに交流できる。(イ、ウ)	ア【知識及び技能】 ①技能テスト ②定期テスト ③小テスト ④授業観察 イ【思考・判断・表現】 ①個人カード ②ゲームの参加状況 ③定期テスト ④授業プリント ウ【主体的に学習に取り組む態度】 ①授業観察 ②個人カード
集団行動	・集団隊形・姿勢・方向転換など	・集団として、敏速かつ的確な行動が整然ととることができる。(ウ)	
スポーツテスト	・新体力テスト種目	・ルールを理解し、意欲的に取り組むことができる。(ア、ウ)	
陸上競技（短距離・リレー）	・基本的なスタート方法、バトンパス	・自分にあった課題設定ができ、計画的に課題解決に努めることができる。(イ、ウ) ・より速く走ることを目指し、ベストを尽くすことができる。(ア)	
器械体操	・平均台運動	・各種目の技がより円滑に行うことができる(ア) ・自己の努力や工夫によって課題解決に取り組み、その課題を達成した喜びを味わうことができる。(イ、ウ)	
水泳	・クロール・平泳ぎ・バタフライ　・背泳ぎ ・25mタイム計測 ・3分間距離遠泳	・各泳法を正しく泳ぐことができる。(ア) ・長く、また、速く泳ぐことをねらいとして、自己の能力に応じて課題の達成に取り組むことができる。(イ、ウ)	
保健	・健康な生活と疾病の予防	・感染症の予防と健康の保持増進や疾病の予防のための個人や社会の取組に関する知識と、健康についての判断を身に付けることができる。(ア、イ)	参考図書 『中学保健体育』（学研） 『ステップアップ中学体育』（大修館書店）
バレーボール	・個人的技能：パス・レシーブ・サーブ ・集団的技能：カバーリング	・基本的な個人的技能を習得することができる。(ア) ・集団的技能を用いてラリーを続ける楽しさを味わうことができる。(イ、ウ)	
陸上競技 ハードル 長距離走	・ハードリング技術 ・インターバルトレーニング	・スピードを維持した走りからハードルを低く越すことができる(ア) ・自分にあった課題設定ができ、計画的に課題解決に努めることができる。(イ、ウ) ・互いに協力し、自己や他の生徒の記録を計測することができる。(ウ)	
バスケットボール	・個人的技能：パス・キャッチング・ドリブル・シュート・ピポット ・集団的技能：ディフェンス・オフENSE	・パス・キャッチング・ドリブル・シュート・ピポットをすることができる。(ア) ・勝敗に対して公正な態度で臨み、ゲームや競技を楽しもうとすることができる。(イ、ウ)	
サッカー	個人的技能：パス・ドリブル・シュート・トラッピング・キック ・集団的技能：ディフェンス・オフENSE	・基本的なパス、ドリブル、シュート、キックなどができる。(ア) ・勝敗に対して公正な態度で臨み、ゲームや競技を楽しむことができる。(イ、ウ)	
バドミントン	・ストローク・サーブ ・審判法	・各自、またはグループごとに課題を持ち、学習や実習に取り組むことができる。(イ、ウ) ・基本的な技を行うことができる。(ア)	
保健分野	・健康と環境	・身体の環境に対する適応能力や飲料水や空気の衛生的管理、廃棄物の衛生的管理について理解することができる。(ア)	
体育理論	・文化としてのスポーツの意義	・現代生活におけるスポーツや国際的なスポーツ大会などが果たすの文化的意義について理解することができる。(ア) ・運動やスポーツの意義や効果について理解できる。(エ)	